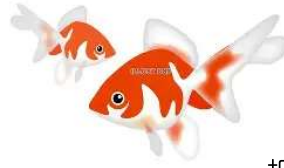




豊臣秀長ゆかりの城下町

大和郡山を訪ねる



担当2班



大和郡山は金魚の町として知られていますが城下町でもあります。1580年大和の戦国大名筒井順慶の築城に始まります。1585年には豊臣秀長が郡山に入城し本格的な城郭の建設を開始し、豊臣政権による畿内支配の拠点として大規模に整備され、城主秀長は大和紀州和泉を治める100万石大名として城下町の発展に努めました。秀長は5年間滞在しましたが当地で死去。その後変遷を経て江戸時代徳川家の譜代大名が城主となり、1724年柳沢吉里が藩主となって以降柳沢家が明治まで続きます。

ちょうどこの時期「大和なひな祭り」と題して各所に雛飾りも展示されています。NHK ドラマ「豊臣兄弟」鑑賞の一環として郡山を訪ねてみましょう。

「実施日」 2026年2月27日(金) 「集合」 近鉄郡山駅(橿原神宮前行ホーム)改札口出たところ10時

「アクセス」 鶴橋 8:54 急行天理行→ 直通乗り換えなし → 9:34 着

鶴橋 9:08 快速急行奈良行→9:31 大和西大寺乗換 9:33→橿原神宮前行 9:41 着

鶴橋 9:17 快速急行奈良行→9:44 大和西大寺乗換 9:45→橿原神宮前行急行 9:51 着

「コース」近鉄郡山駅→金魚資料館→大納言塚→永慶寺→郡山城址(郡山城情報館 柳澤神社 天守台など)
→金魚ストリート 紺屋町→町屋物語館→源九郎稻荷神社→薬園八幡神社→外堀緑地公園→JR郡山駅
解散 15時ごろ 歩行距離 約7キロ 歩行時間 約3時間弱

「持ち物」弁当 飲み物 敷物 雨具 ストック(必要な方)

「参加人数」各班の班長さんは参加人数を2月20日(金)までに2班班長増田さんにお知らせ下さい。

「実施可否」降水確率 50%以上の時は中止 その場合は前日にお知らせします。



郡山城址

天正年間に筒井順慶が築城をはじめ、その後豊臣秀長が入城して畿内支配の拠点として整備拡張をした。高石垣は荒々しい野面積で、城普請の際大和国中から石材を集め、石垣に多種多様な石材が見られる。石仏や寺院の礎石、庭石、五輪塔、石地藏などが用いられ(転用石材)「逆さ地藏」「五尊石」などが有名。

2022年11月に国の史跡に指定された。



大納言塚

秀長の墓所。秀長は天正19年(1591年)に郡山でなくなり菩提寺の大光院が墓所を管理し菩提を吊っていたが豊臣家滅亡後大光院が荒廃することを懸念して藤堂高虎が寺を京都にうつし位牌は春岳院に託す。その後墓所は町中の協力で整備され現在も地域ぐるみで奉賛されている。